

股関節唇損傷に対する保存療法の治療成績に関する

後ろ向きおよび前向き観察研究

研究に関する情報の公開

研究議題名	股関節唇損傷に対する保存療法の治療成績に関する 後ろ向きおよび前向き観察研究
研究方法	観察研究
研究の対象	2023年10月1日から2027年3月31日までの間に当院を受診 し、股関節唇損傷に対して治療を受けられた方。
研究期間	倫理審査承認日から2028年3月31日まで。
研究目的	股関節唇損傷は若年～中年を含め臨床で多く見られ、股関節痛 や機能障害の原因となります。股関節唇損傷の治療は保存療法 から手術療法まで幅広いですが、保存療法の成績や、どのよう な方が保存療法で改善が得られやすいのかと行った情報は不足 しているのが現状です。 本研究では、当院で股関節唇損傷に対する治療を受けられた方 を対象に、質問票で聴取した症状や関節可動域の変化を調査 し、改善に関連する要因を探索します。本研究は股関節唇損傷 の治療成績の実態や関連因子を明らかにすることでその成績向 上に寄与することが期待されます。
研究概要	カルテより、下記の情報を収集します。治療前後でこれらの推 移を明らかにするとともに、症状の変化に関連する因子を検討 します。これらの項目は通常の診療の一環として診療録に記載 されているものであり、本研究の参加によって特別に追加して 収集する項目はありません。 個人情報の取扱い：収集した情報は研究用IDを付与し連結可 能匿名化して管理します。対応表は研究データと分離して保管 し、研究関係者のみにアクセスを限定します。 カルテから収集する項目： 質問票（International Hip Outcome Tool-12、Nonarthritic Hip

	Score、modified Harris Hip Score、Central Sensitization Inventory)、股関節可動域、画像所見（レントゲン、MRIなど）、背景情報（年齢、性別、身長、体重、既往歴、併存疾患）
研究体制	東京整形外科ひざ・こかんせつクリニック 整形外科 黒坂 健二、渡部 直人、齊藤 昌愛 同 リハビリテーション科 野尻 周佑、久 光佑、沼尻 伸悟、東 廉
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 東京整形外科ひざ・こかんせつクリニック リハビリテーション科 理学療法士・野尻 周佑 〒136-0071 東京都江東区亀戸 5-1-2 LIV 亀戸 2 4F TEL: 03-5875-5765